

なゆたん通信

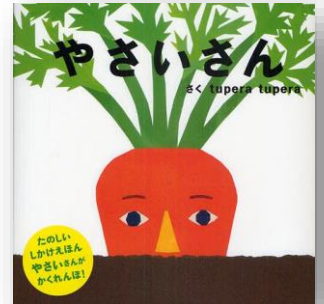


21号に引き続きおすすめ絵本をご紹介します。

『やさいさん』

畑の野菜がユーモアたっぷりに「すっぽーん」と抜かれるリズムカルなお話し絵本です。次はどんな野菜が出てくるのかドキドキワクワクの楽しみと、途中で野菜ではないものが出てくる時にはびっくりしながら楽しめます。

野菜が大好きな子はもちろん、野菜が苦手な子にとっても野菜を身近に親しめるお話しなので、食育にもばっちりです。

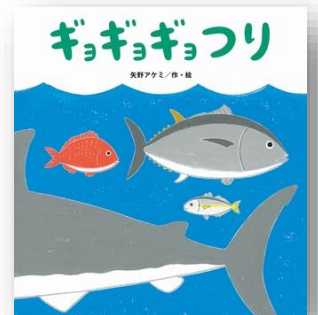


『ギョギョギョつり』

釣りをしながら眠ってしまったおじさんに起こる、予想外のちょっとおもしろい出来事を描いたお話です。ページをめくるたびに次々と現れる魚たちにワクワクします。

見開きページは迫力満点！

大人も楽しめる しかけ絵本となっています。



『くらくらい』

真っ暗な部屋にシルエットで「まっくらくらくらーい くらい でんきをつけてちょうだい」と繰り返されます。シルエットを想像して当てたり、言葉のリズムを楽しんだり大人気の絵本となっています。

「おばけ？」と真剣な顔で見ている児童が多いです。



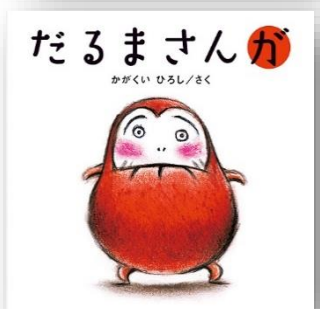
『だるまさんが』

思いもよらない動きの連続であかちゃんから子どもたち、大人まで笑っちゃう

大人気の絵本『だるまさんシリーズ』

こどもたちは、だるまさんの動きをまねしながら、からだを揺らしている姿がよく見られます。だるまさんが「どてっ」と転んだり、だるまさんの体が「ぷしゅーっ」と萎んだりだるまさんが「ぷっ」とオナラをしたり。

とてもシンプルな展開ですが「次はどうなるだろう？」と興味を惹きつける絵本です。



『みんなのほねほね』

先生のもとへ体の調子の悪い動物たちがやってきます。

ページを開くと先生が撮ったレントゲン写真が。

骨を見て「こんな風になっていたんだ～」と驚く子どもたちもいました。

動物園や図鑑では分からない、生き物の骨が楽しく学べる絵本です。

